

【長生地域】平成 30 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	一宮町	品種	アキヒカリ
土性	砂壤土	播種日	4月2日
播種量	200g/箱	移植日	4月28日
幼穂形成期	6月11日	出穂期	7月7日
成熟期	8月13日	収穫日	8月20日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	82cm	穂長	16.9cm
穂数	572本/m ²	倒伏程度	9割が多程度
粗玄米重	690kg/10a	標準単収値	542kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：－
- ・施用量：－
- ・施用時期：－

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：7.1kg/10a ※肥料銘柄：まろやかレッドペースト
 - ・(追肥) N量：1.5kg/10a ※肥料銘柄：ファイトNK
- 追肥実施日：6月18日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：4月28日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：55株/坪
- ・植付本数(4～6本/株を推奨)：5.4本/株

4 考察等

倒伏が発生したものの収穫に大きな支障はない程度であり、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	アキヒカリ
基肥 N 量	9 kg/10a (砂質土の場合)
穂肥 N 量	3 kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1～2mmの時期)に施用します